

福岡東医療感染症センター

1. 地域住民への周知活動
 - ① 開設に向けた住民説明会【平成 24 年 1 月】
 - ② 感染症委員会と住民向け勉強会（2 回/年）
 - ③ エボラ出血熱に向けた住民説明会【平成 26 年 12 月】
2. ネットワークの構築
 - ① エボラ出血熱関係機関協議会
福岡県、検疫所、県内 4 大学、2 種感染症病床設置病院、
福岡県・粕屋医師会、古賀市、福岡市、粕屋保健所、粕屋警察署
粕屋北部消防署【平成 26 年 9 月 4 日、10 日、10 月 1 日】
 - ② 地域協議会
古賀市、粕屋医師会、粕屋保健所【平成 26 年 11 月 4 日】
 - ③ エボラ出血熱の支援体制構築に向けた協議会【平成 26 年 12 月 1 日】
県内 4 大学、国立病院機構グループ事務所、福岡県医師会、古賀市、
福岡赤十字病院、九州医療センター、九州大学法学部教授
出席者の支援表明を受け、当院で合同訓練を開始
福岡東医療センターの感染症診療機能を実効支援する
専門的学識的な支援機能を持つ（大学の支援を仰ぐ）
九州大学病院長、担当教授と協議【平成 26 年 12 月 24 日】
3. 診療体制の強化
 - ① 感染症センターの構築と感染症マニュアルの作成【平成 26 年 7 月】
 - ② シミュレーション
 - ・ 院内シミュレーション【平成 26 年 8 月 27 日】
 - ・ 合同シミュレーション【平成 26 年 9 月 17 日、12 月 24 日】
 - ③ 院内説明会
 - ・ 当該病棟
 - ・ 全職員【平成 26 年 11 月 28 日】
 - ④ 院内体制
 - ・ エボラ専従チーム 7 名
 - ・ 副看護師長対応班 15 名
 - ・ エボラ出血熱が入院すると、看護体制の確立が厳しい、他病院の支援体制が望ましい
 - ⑤ 支援の呼びかけ
 - ・ 福岡県病院協会（役員会と機関紙での呼びかけ）
 - ・ 支援実績（東北震災等）のある病院との協議

聖マリア【平成 27 年 1 月 6 日】

麻生【平成 27 年 1 月 6、14 日】

機構【平成 27 年 1 月 8 日】

福岡日赤【平成 27 年 1 月 9 日】

合同訓練と連携させる

⑥ 合同訓練【平成 26 年 12 月 17 日開始】

- ・ 着脱訓練
- ・ 感染症マニュアルに基づく病棟手順と電子カルテの操作訓練
- ・ 1 回/週
- ・ 合同訓練参加者の内、支援者登録
- ・ 電子カルテに感染症診療ガイドライン画面の作成

4. 行政機関との提携

- ① 県・政令市との協議会【平成 26 年 12 月 25 日】を開催
 - ・ 当院と県と政令市の医系職員で情報共有を図る。
- ② 県との協議【平成 27 年 1 月 23 日】